

研究課題名	たこつぼ症候群発症の基盤となる分子生物学的病態の解明
研究期間	実施許可日 ～ 2028年 3月 31日
研究の対象	<p>以下要件を満たし、本研究の参加に同意された患者さんを対象とします。</p> <p>【要件】</p> <p>2021年6月2日～2024年12月31日の間に広島大学病院および広島市立安佐市民病院、広島市立広島市民病院で、たこつぼ症候群（TTS）と診断された患者さん。あるいは、比較対照として急性冠症候群（不安定狭心症・心筋梗塞）、心房細動や高血圧症で加療を受ける患者さん。</p>
研究の目的・方法	<p>研究目的：たこつぼ症候群と診断され治療を受ける患者さんの血液と尿を用いて、この病気の起こる要因を明らかにすることです</p> <p>研究の方法：診断時および回復期に採血と採尿を行い、血液・尿中のストレスホルモンの量、酸化ストレスの量、酸化ストレスによる細胞の損傷などを評価します。1回の採血量は7ml、採尿量は10mlで、診断時、入院中、回復期に採血を行います。通常の診察に伴う採血と同時に採取しますので、患者さんの体への負担はほとんどありません。</p> <p>診療録に記録されたデータと血液・尿からの測定結果を比較し、この病気の発症する基盤や重症度を決定する因子などを明らかにします。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：患者基本データ、既往歴、心電図</p> <p>試料：血液、尿</p>
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で使用します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野由紀子</p> <p>研究機関の長</p> <p>広島大学理事 田中純子</p>

	<p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野由紀子</p> <p>共同研究機関 広島市立安佐市民病院 循環器内科 医長 永井道明 広島市立広島市民病院 循環器内科 主任部長 塩出宣雄</p>
<p>その他</p>	<p>研究期間終了日を 2025 年 3 月 31 日から 2028 年 3 月 31 日に延長しております。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>お問い合わせ先 広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学中野 由紀子（なかの ゆきこ） 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL：082-257-5540 FAX：082-257-1569</p>